

弁財天

菊池18外城の一つである戸崎城の二の丸だった場所に「弁財天」が建っています。

敵の様子などを見張る「物見櫓」があった由緒ある古城跡で、限府の町やその西方を見渡せる素晴らしい眺めの山頂です。

真下を流れる菊池川に敬意を表してか、元々はインドで流れる川を神格化させた神サラスヴァティー、日本では七福神の一人で、福徳付与の神である「弁財天」（弁天様）様が祭られています。



認定番号第ふるさと H24-15号
推薦者 今区

百万遍と専用仏具

百万遍とは、百万遍念仏ともいわれ、念仏を100万回唱えることで祈願が成就されるとされています。複数の人間が同時に念仏を唱えることを例えたもので、10人×10万回＝100万回から来ています。

村田区の百万弁は、子どもから高齢者まで参加して、お坊さんの御経に合わせて、念仏を唱えながら専用の大数珠を回します。

専用仏具は直径2.5mの大数珠のほか、打ち鉦、木魚、鐘があり、打ち鉦には安永8年と刻まれています。230年以上前から、この地で大切に引き継がれてきた行事と仏具であることが物語っています。



認定番号第ふるさと H24-16号
推薦者 村田区

いじめや児童虐待

七城中学校2年 田平彩花

みなさんは、いじめや児童虐待について、最近、たくさんニュースで取り上げてありますが、どんなことを思いながらそのニュースを見ていますか。私は最初、自分には関係ないからどうでもいいと思っていました。

でも、滋賀県の大津市でいじめにあっていた男子中学生が自殺したニュースが大きく取り上げられたことで、私もそのニュースを何回も見て、考え方が少し変わりました。最初はどうでもいいと思っていましたが、いじめって人を殺す、いじめって「凶器」、いや「狂気」なんだと。

そして、私は誰かが言っていた言葉を思い出しました。「いじめって、誰でも経験するんだよ。でも、肝心なのはいじめの経験を生かして、いじめとどう向き合おうかなんだよ。」

でも、私はいじめられたこともなければ、いじめられている人を見たこともありません。だから、正直いじめがどこまでひどいのか、私は分かりません。いじめの経験もないから「いじめの経験を生か

す」こともできません。でも、こんな私でも、何かできることはあるはず。今の私にできること、それを考えてみました。今の私にできること、それはいじめのことをもっとよく知り、関心を持ち、自分にできることを見つけて行動するということです。

さて、話題は変わりますが、次は児童虐待のことです。最近はいじめ同様にテレビなどで児童虐待のことを取りあげられることが多くなってきた気がします。

私は、児童虐待についてのニュースはあまりにもひどい内容なので、あんまり見たくありません。なぜかという、子どもがうるさいからとか、自分の楽しみが減ってストレスがたまったからなどといった、親や大人の自分勝手な理由で、自分の子どもや幼い子どもの命を簡単にうばったりしていることをテレビで見ていると、こんなに重大な事件を無表情でスラスラと読んでいる人たちに對して、「あーあ、やっぱり皆結局は、無関心なんだな。」と思いつつ、自分に対しても、「虐待のないこんないい家庭に生まれてこられたのに、なんで自分の素直な感謝の気持ちと言えないのだろう。」と思うからです。



この児童虐待、これは本当に重大かつ深刻な問題だと思います。力のある者が力のない者を、つまり、大人が子どもを傷つける。児童虐待は、こんなに憎くてひどいものだと私はすっかり胸に刻んで、自分が幸せな家庭、幸せな環境に生まれついたことを感謝しながら生きていきたいです。

最後に、私はこのテーマで作文を書いたことで、いじめや児童虐待の実態を知ったり、興味を持って調べたりできて、とてもいい経験になりました。最初は「どうでもいい」「自分とは無縁だ」などと思っていましたが、今この作文を書き終わりそうなかで、いじめや児童虐待について「どうでもいい」という考えはなくなっています。このことは、私にとって大きな進歩だと思います。本当によかったです。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

第9回 女性のしごと展

期間 ~11月10日(日)
県内の女性作家10人が集まって自慢の作品を展示、販売します。(古布作品・陶器・トールペイント・アクセサリーなど、創造の世界が広がります)

三嶋天鴻グループ菊池書展

期間 11月12日(火) ~18日(月)
菊池の豊かな自然や名所・旧跡を書でたどってみました。あなたも一緒に歩いてみませんか?



第9回夫婦の手紙絵手紙作品展

期間 11月22日(金) ~平成26年1月31日(金)



開館時間 午前9時~午後6時
※期間中の休館日はありません。

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

私の人物写真の世界 田中栄一

期間 11月6日(水)~17日(日)
今までに撮りためた人物写真の中から選んだ写真を展示しますので、どうぞご覧ください。

彩りの会 絵画展 彩りの会

期間 11月19日(火)~12月1日(日)
合志市で毎週水曜日に勉強会を行っています。イキイキと楽しみながらをモットーに、それぞれが輝ける会でありたいです。

【まちかど資料館・企画展示室】

菊池市の巨樹・名木展~菊池市の歴史を観続けてきた巨樹がここに生きている~

期間 ~12月1日(日)
菊池高校正門の脇にたたずみ、樹齢650年を誇る椋の巨木「將軍木」、菊池氏14代武士公の詩にまつわる寺小野の「墨染桜」、上霍神社とも呼ばれる七城町辺田の「妙見の樟」など、菊池には歴史ある古木・名木が数多く残されています。今回はその一部をご紹介します。

※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)



ふるさと緑の便り
菊池グリーンツーリズム
問い合わせ先
さくちふるさと水源交流館
☎0968(27)0102

家庭料理大集合・食の文化祭
昔ながらの行事食や地域に伝わる伝統的な料理、おばあちゃんの味は子や孫の世代に受け継がれていますか。菊池の食を見つめ直し、家庭料理にスポットを当てたイベントが「水源 食の文化祭」です。各地域の婦人部やグループなどが地域の味や伝統料理、創作料理を持ち寄る文化祭は、今年で9回目。昨年は57種類の料理やお弁当で会場が彩られました。展示・試食だけでなく、地域交流も行われる楽しいイベントです。

地域の食を見つめ、次の世代に受け継ぐ食の文化祭に参加しませんか。

とき 12月1日(日)
午後1時~3時(予定)
ところ さくちふるさと水源交流館 体育館
参加料 1人500円
小学生以下は無料

韓国発見シリーズ ④
ほんにちは金です
韓国発見シリーズ ④
ほんにちは金です
韓国発見シリーズ ④
ほんにちは金です

韓国人が一番好きな木「松」
日本に初めて来たとき、うつそうとした森を見ながら「杉の木は多いが松はほとんど無い」と感じた。庭には立派な松の木が綺麗に手入れされていたが、山には自生している松がほとんど見当たらなかった。

韓国人の生活は松の木と密接な関係がある。「韓国人は松で建てた家で生まれ、松のある村で暮らし、松で作った棺おけに入って帰る」と言われる程だ。実際ある調査によれば韓国人の67.7%は松の木が一番好きだと答えた。2位の銀杏(5.6%)とは圧倒的な差がある。松は国土面積の27%を占めるほど多い。

松の木は堅くて簡単に腐らない。虫が付き難く、曲ったり割れたりもしない。それで宮廷や寺院を造るのに使われた。特に宮廷を造る木材は松の木以外は使わなかった。数年前、ソウルで起きた放火事件で消滅した韓国の国宝第1号南大門が最近復元されたが、復元に使われた木も松だ。

昔から松は韓国人の生活と関係が深かった。例えば、朝鮮時代陶磁器を窯で焼く際、松の木を

新として焼くと陶磁器の質が良かったという。また、松ぼっくりや枯れた松葉は掻き集めてかまどの焚き物で使った。ソングトクという餅があるが、それは松の内皮(渋皮)をうるち粉と混ぜて作る。最近では血液循環に良いといわれ松葉を搾って作った飲み物は人気がある。

昔は兵船の材木はほとんどが樹齢100年くらいの松を使っていた。1隻の船を造るうとすれば松が数百本必要だった。韓国の世宗実録という歴史書の中には、昔、日本が頑丈な船を造るため韓国の島に入ってきた、松の木を奪ったという記録がある。

現在、韓国でも地球温暖化の影響により松材線虫の被害で、毎年数十万本の松が枯死しているというニュースがあった。2050年ごろになると、松の木は韓国北東の江原道の山間地域にしか残らないという暗鬱な警告も出ている。

韓国から松が無くなるかも知れないという信じがたい話は、私の子ども時代の松の木に関する思い出まで遠ざかりそうに秋風のように淋しい。